

がん看護学特論

[講義] 1年 前期 選択 30時間 2単位

《担当者名》○熊谷 歌織 [kaori@hoku-iryo-u.ac.jp]
三津橋 梨絵 [mitsuhashi@hoku-iryo-u.ac.jp]

【概要】

がんサバイバー・家族が抱える複雑な健康問題とその体験を理解し、包括的な支援を提供するための基礎となる理論・概念について現象と照合しながら具体的に学ぶ。また、学んだ理論の実践および研究への適用について探求する。

【学修目標】

1. 専門看護師の活動として6つの役割を説明できる
2. がんサバイバー・家族が抱える複雑な健康問題とその体験を理解するための基礎となる理論・概念について、それぞれの理論の特徴を理解できる
3. 自身が体験したがん看護における現象について、学習した理論と照合し説明できる
4. 1～3にもとづき、専門看護師としての自身の課題を考察できる

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1) 2	専門看護師活動の特徴	1) 専門看護師の歴史を概観する 2) 専門看護師の活動として実践(直接ケア), コンサルテーション, 倫理調整, 調整, 教育, 研究について特徴や機能を概観する 3) 役割発揮に影響する要素を学習する 4) 2) 3) を通して「高度な実践」とは何かを考察する	三津橋 熊谷
3) 6	がんサバイバーによるセルフケア力の発揮を支援するための理論	1) セルフケア力の発揮支援に関する理論について、固有の概念, 理論の特徴, 看護実践への適用を学習する レジリエンス, セルフケア理論, エンパワメントのいずれかを選択し, プレゼンテーションする 2) これまでの実践についてリフレクションする	熊谷 三津橋
7) 10	がんサバイバーが遭遇する危機的状況, ストレス状況を理解する理論	1) 危機的状況・ストレス状況の理解に関する理論について、固有の概念, 理論の特徴, 看護実践への適用を学習する 危機理論, ストレス・コーピング理論のいずれかを選択し, プレゼンテーションする 2) これまでの実践についてリフレクションする	三津橋 熊谷
11) 13	がんサバイバーの体験を全人的な観点から理解する概念	1) 全人的理解に関する概念について、固有の概念, 理論の特徴, 看護実践への適用を学習する 病いの体験, ナラティブ・アプローチ, マーガレット・ニューマンモデルのいずれかを選択し, プレゼンテーションする 2) これまでの実践についてリフレクションする	熊谷 三津橋
14) 15	学習した理論・モデルの実践、研究への適用	1) 既習の理論の実践、研究への適用を探求する 以下の観点から研究論文を1つ選び、プレゼンテーションする ・概念枠組みとして活用されている研究 ・支援方法として活用されている研究 ・介入研究	熊谷 三津橋

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部(研究科)、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

各テーマのレポート(50%), プレゼンテーション(25%)およびディスカッション(25%)から総合的に評価する。

【教科書】

適宜資料を配布する。

【参考書】

随時提示する。

【学修の準備】

関連資料および関連図書を熟読して臨む。

【学修方法】

各テーマの課題に対するプレゼンテーションとそれに対するディスカッションにより学習を深める。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目の内容は、看護学における高度な専門性と研究能力を修得するという看護学専攻博士前期（修士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。